

# オンプレ環境でのZabbix7.0: 構築内容と気づきの共有

株式会社Jストリーム

小山 拓海

2024/11/21 (木)



## 小山 拓海 (コヤマ タクミ)

### 株式会社Jストリーム

- ・ ネットワークインフラ部 ネットワークインフラ課
- ・ 2018年、株式会社Jストリームに入社

### 業務内容

- ・ 基盤ネットワーク・サーバインフラの設計・構築

### Zabbix Conferenceは2回目の登壇です。

- ・ 2020年にも登壇しました。

### 業界のつながりを広げたく参加致しました

- ・ 名刺いっぱい持ってきました。ぜひ交換してください。



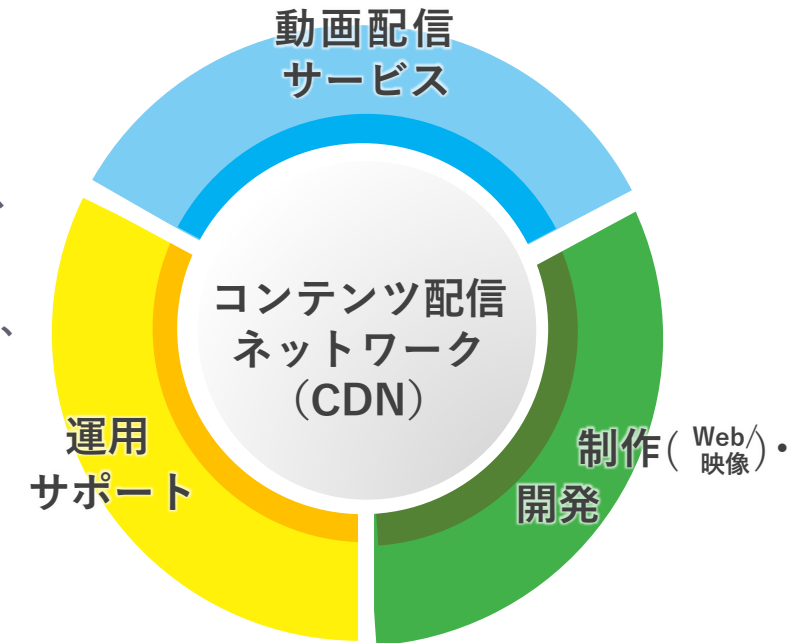
もっと素敵な伝え方を。



[www.stream.co.jp](http://www.stream.co.jp)

## 株式会社Jストリーム(AS24253)

Jストリームは1997年の設立以来、動画配信を主軸として事業展開を続けております。  
自社で保有・運営する独自のコンテンツ配信ネットワーク（CDN）を活用した動画配信に加え、  
これまで積み上げてきたノウハウを活かした動画の企画・制作・運用から、Webサイト制作、  
システム開発、動画広告による収益化支援まで、総合的なサービスとソリューションを提供し、  
企業のマーケティングやコンテンツビジネスなどを支援しております。



設立 1997年5月

証券コード 4308 (東京証券取引所 グロース市場)

本社：105-0014 東京都港区芝二丁目5-6 芝256スクエアビル6階

西日本オフィス：530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-4-27 JRWD堂島タワー5階

資本金 21億8,237万円 (2023年12月末現在)

## ①事例共有：オンプレ環境でZabbix7.0の構築・移行の苦戦

- ・ リリースされてすぐのため、導入企業様はわずか
- ・ 当社の事象が少しでも、皆様のお役に立てば

## ②情報収集をしたい

- ・ 各企業様での構成について
- ・ 機器の監視以外の利用用途



ご意見・ご質問等のコメント投稿、お願いします！

- **今回のお話は、あくまでも移行プロセスの一事例です**
- **Zabbix7.0での稼働・本格運用は、これからです**

- はじめに(自己紹介、会社紹介、登壇趣旨)(済)
- 移行概要
- 移りの背景
- 構築内容(設計、構築、運用)
- まとめ
- 終わりにかえて

# 移行概要

## データセンタ間冗長 (L3で冗長) 構成

### ●現在はオンプレで構築した

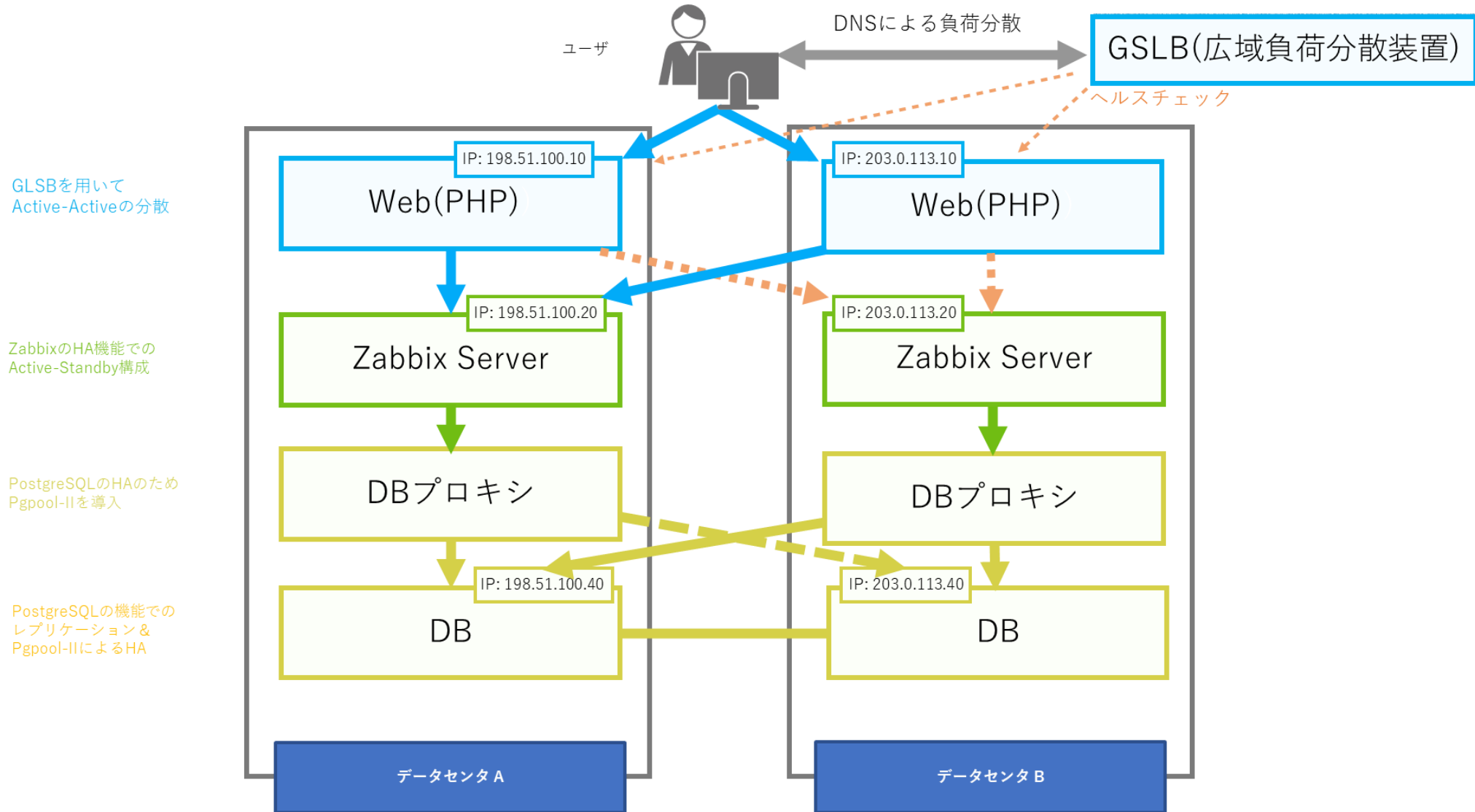
#### Zabbix7.0へ環境移行中

- Zabbix Server : 2台  
→ リプレース完了
- Zabbix Proxy : 9台  
→ リプレース完了
- 監視対象 : 900台 (2024年11月現在)  
→ 移行中 : 314台完了
- アイテム数 : 185,795個 (2024年11月現在)  
→ 移行中 : 78,300個完了

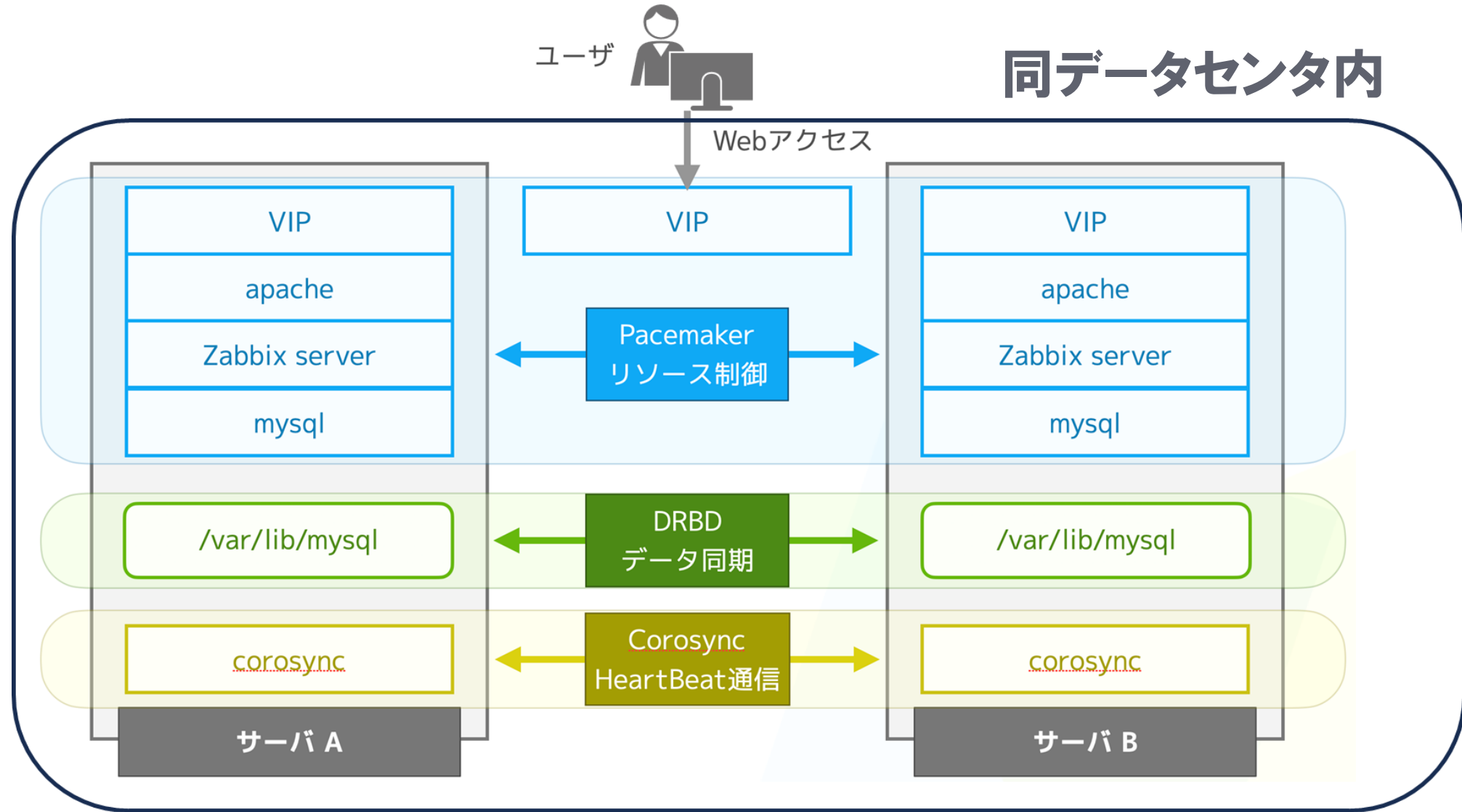
### ●監視環境の見直し

- 初期テンプレートを使わず、カスタマイズしたテンプレートの利用
- 使用するDB変更
- Zabbix Agentのバージョンアップ (5.0→7.0へ)

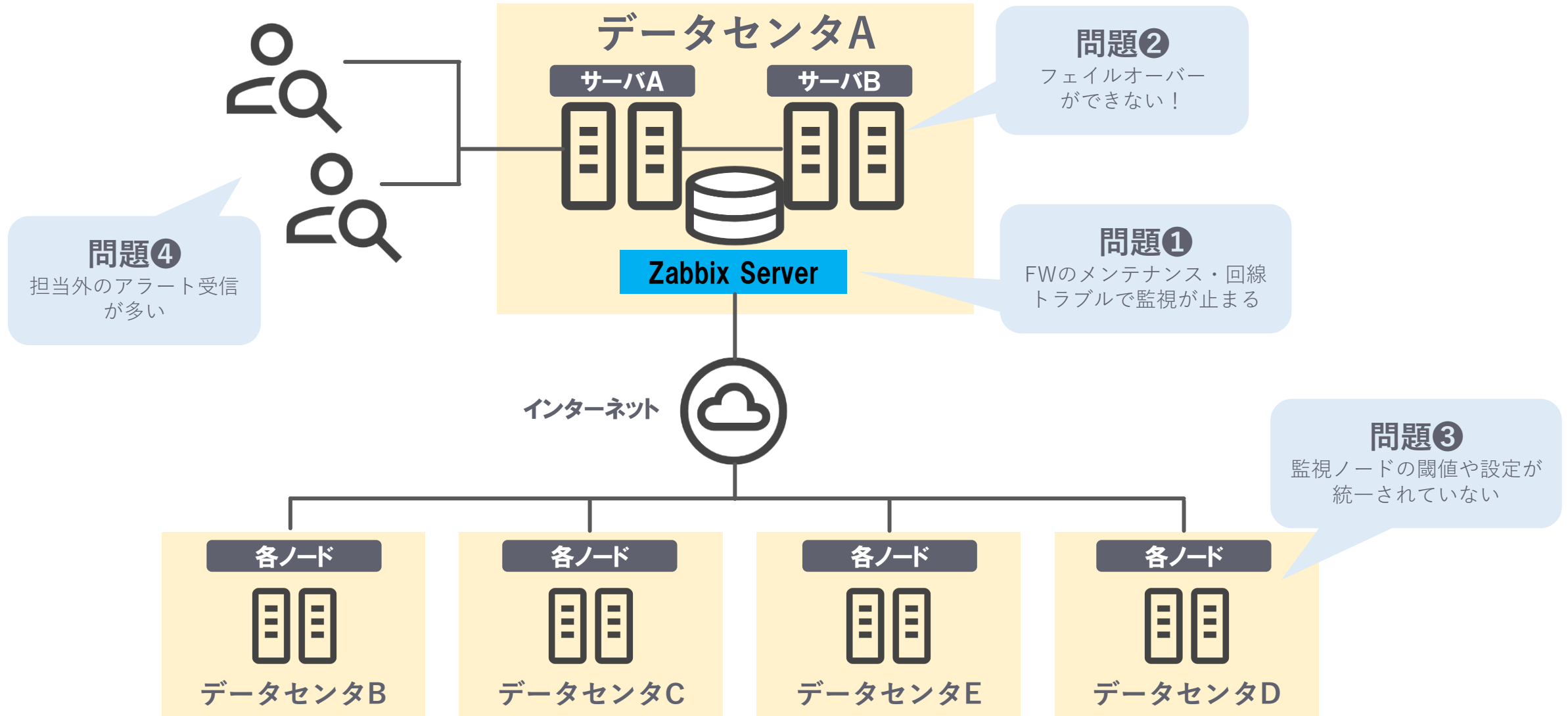




# 移行の背景



# 4つの問題点



## ●2023年4月～、プロジェクトメンバー：3名

### 【プロジェクトにかけるメンバーの想い】

- ① リプレースにあわせて拠点を跨いだ冗長構築
- ② 構築を機に監視項目も綺麗に！
- ③ 監視範囲も見直しを(誰の責任かキチンと定義)

# 構築内容(設計) 問題①②について

## 問題

①FWのメンテナンス・  
回線トラブルで監視が止まる

②フェイルオーバーができない！

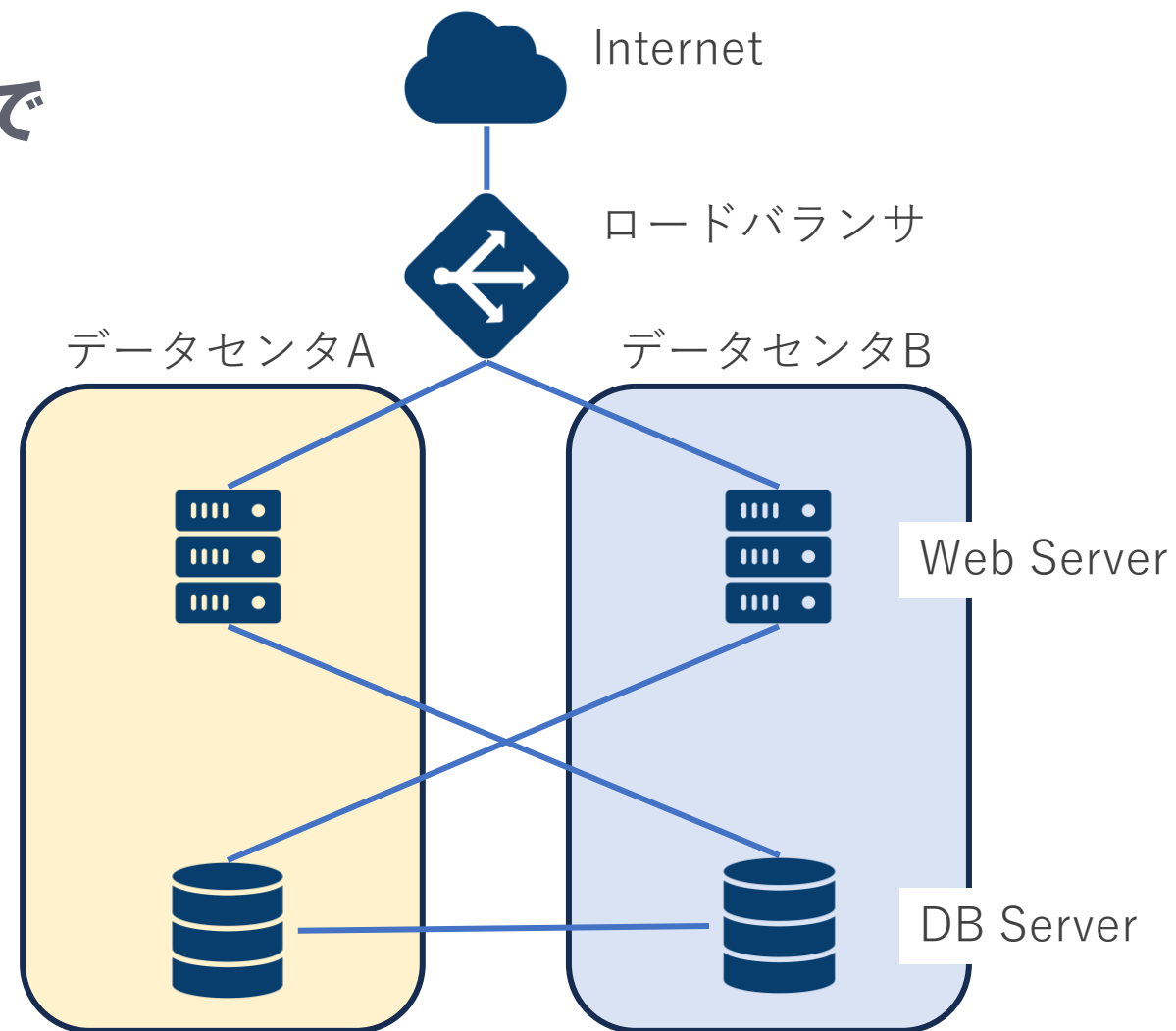
## 課題

① 1拠点のネットワーク断は許容し、監視をとめない

② DB切替により、瞬時にフェイルオーバーさせる

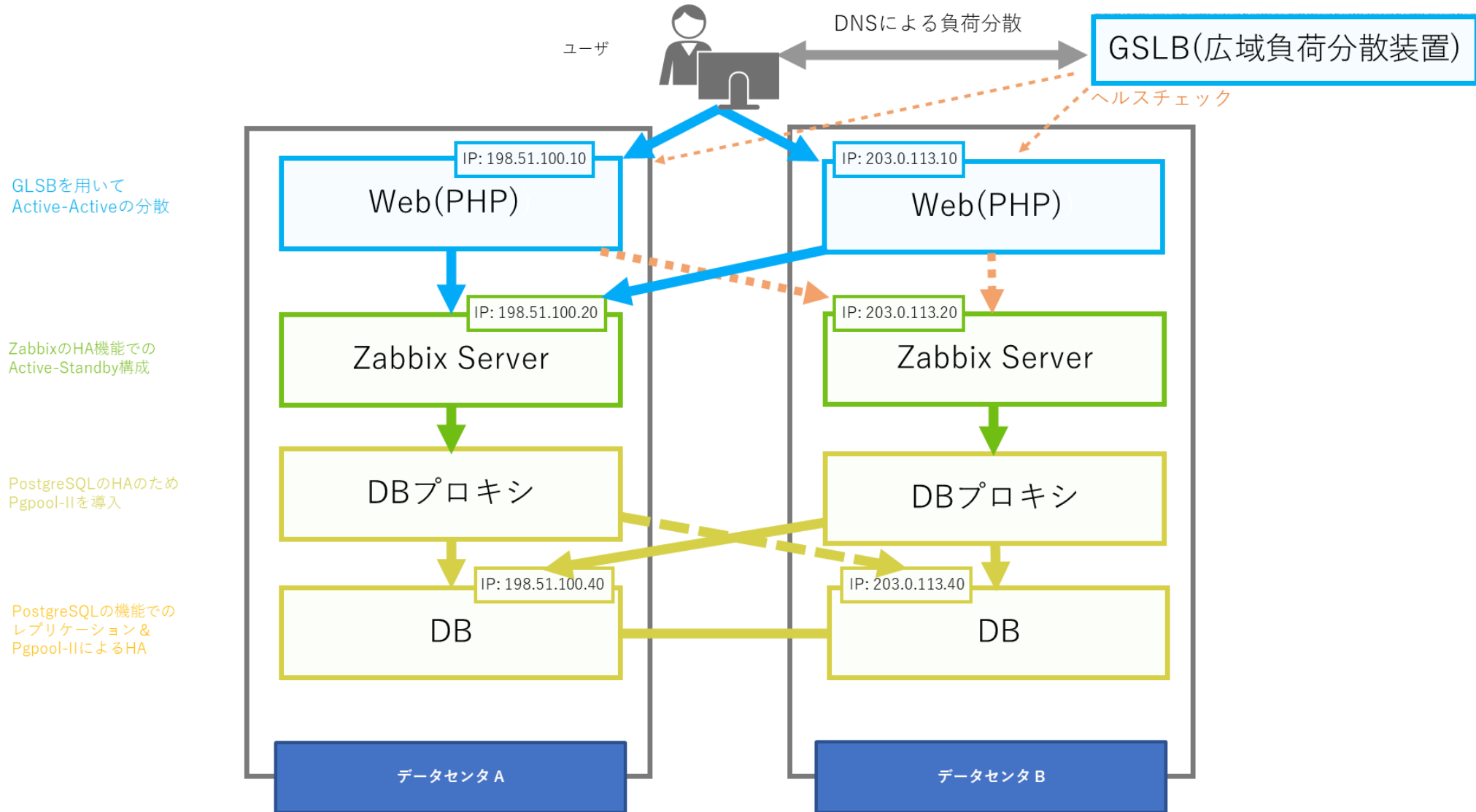
## ●DC間冗長でクリアすべき課題

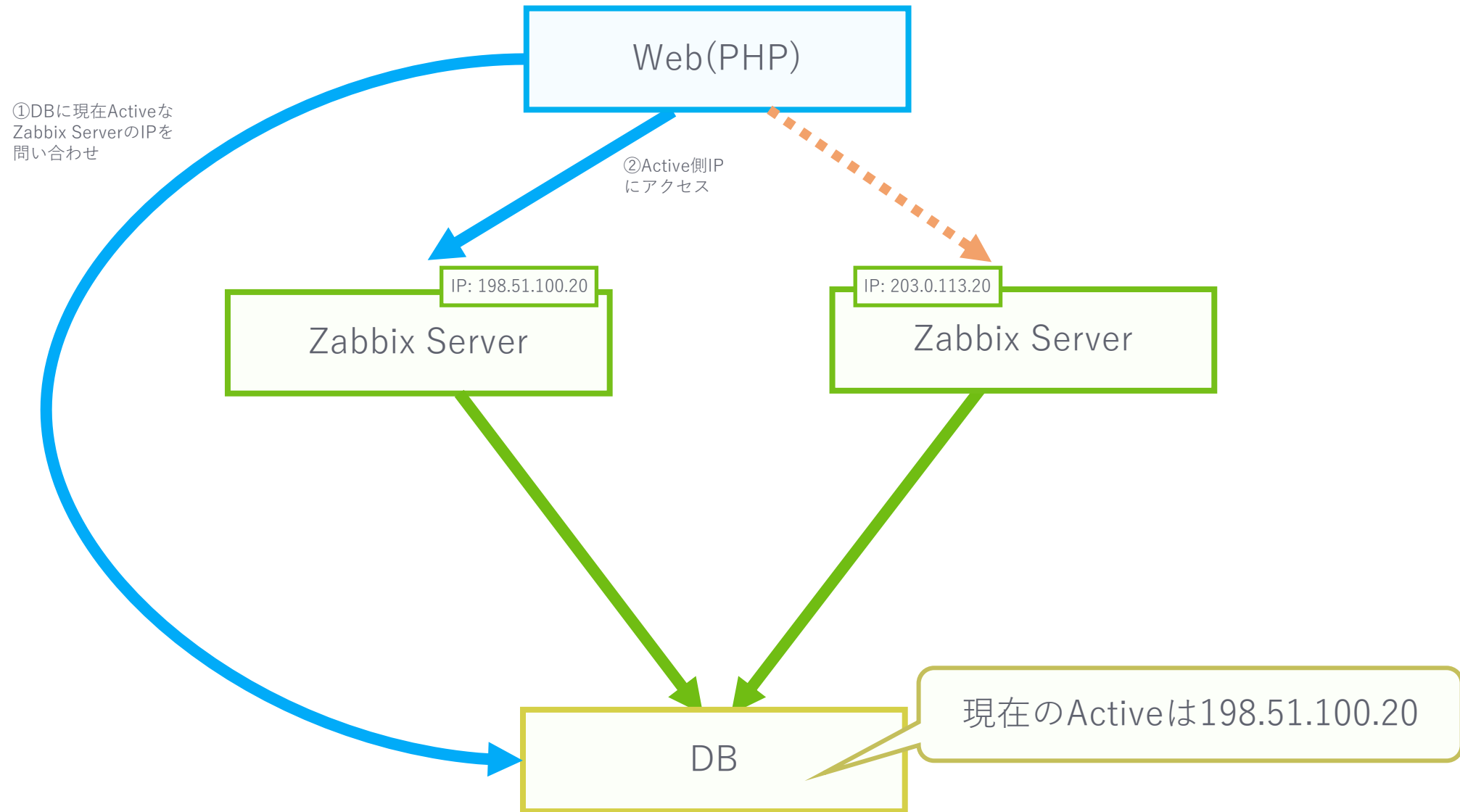
- 異なるネットワーク(データセンタ間)で
  - 冗長化ができるか
  - DBがスムーズに切り替わるか

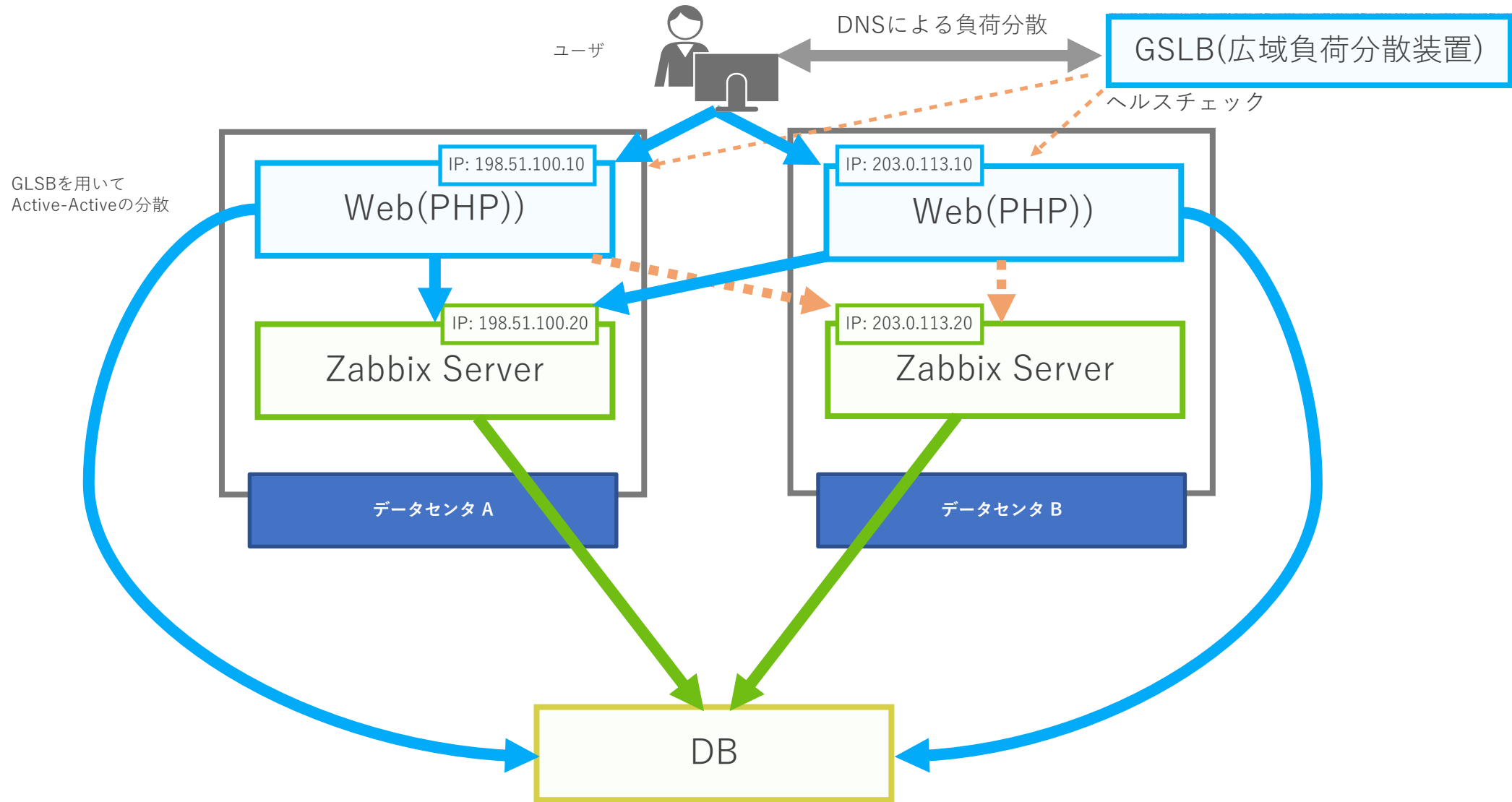




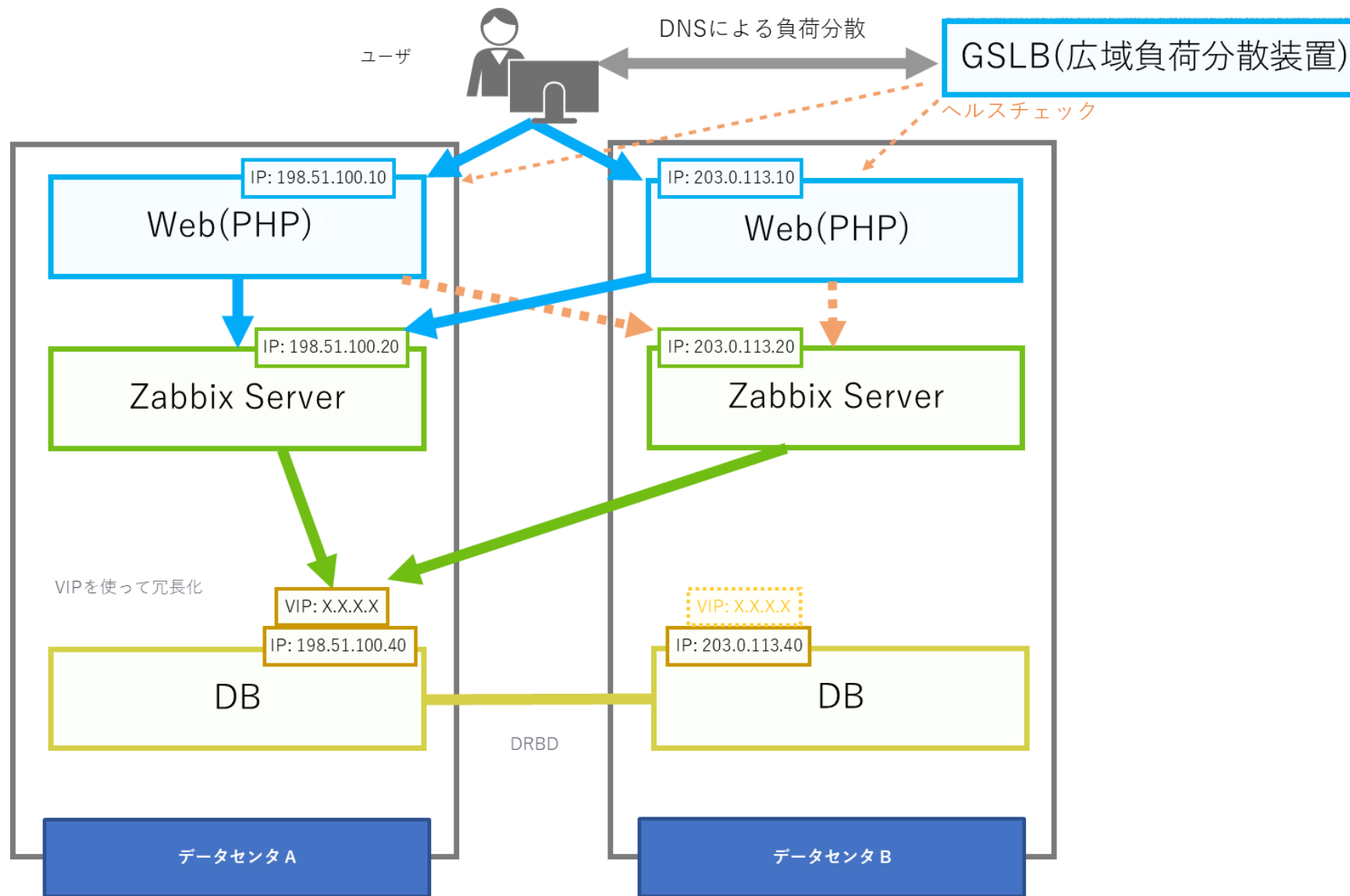
# 構築内容 問題①②について



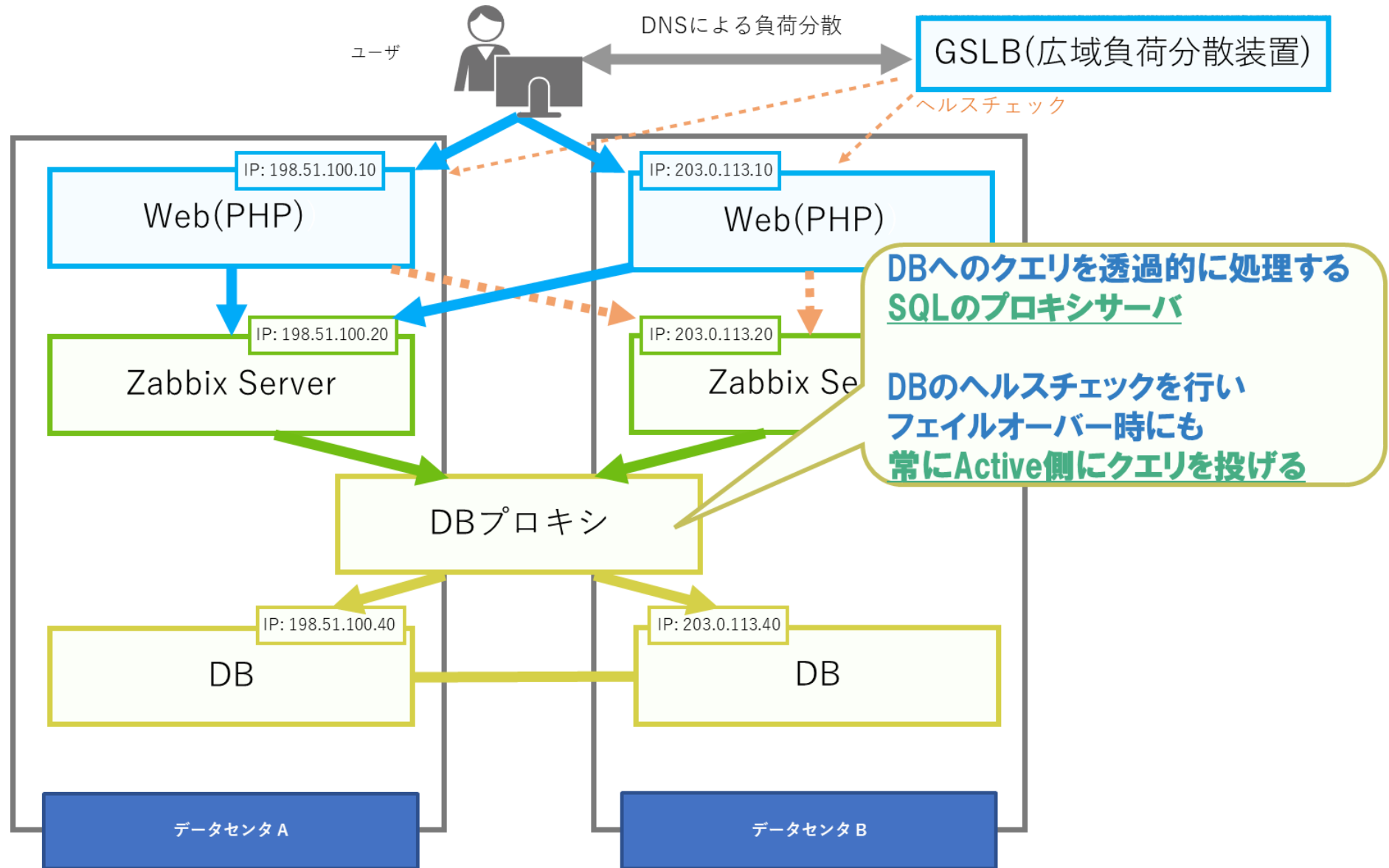




# DBの冗長化(当初想定)



# DBの冗長化(最終)



## Before

データセンタ間冗長なし

MySQL



## After

データセンタ間冗長あり

PostgreSQL(ストリーミングレプリケーション)  
+  
Pgpool-II

# 構築内容(運用) 問題③④について



## 問題

③ 監視ノードの閾値や設定が統一されていない

④ 担当外のアラート受信が多い

## 課題

③ 自社の監視項目が不明確

④ あいまいな監視体制

### ③ 自社の監視項目が不明確

Before: Zabbix Server 5.0時

テンプレートにある項目が  
すべて発報する運用

||

**利用用途外のアラート増加**



After: Zabbix Server 7.0新体制

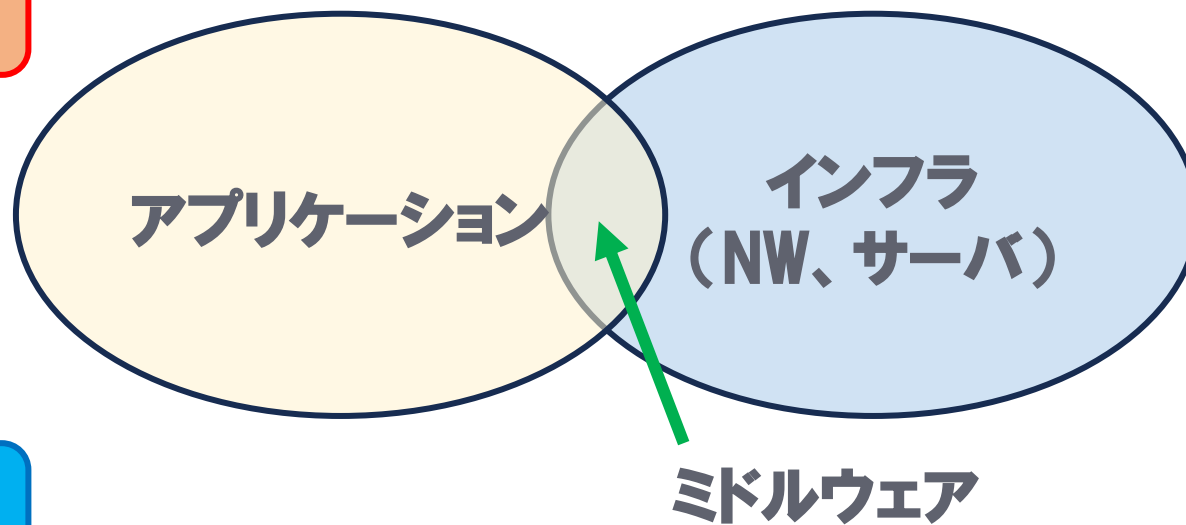
自社に必要な監視項目の洗い出し

||

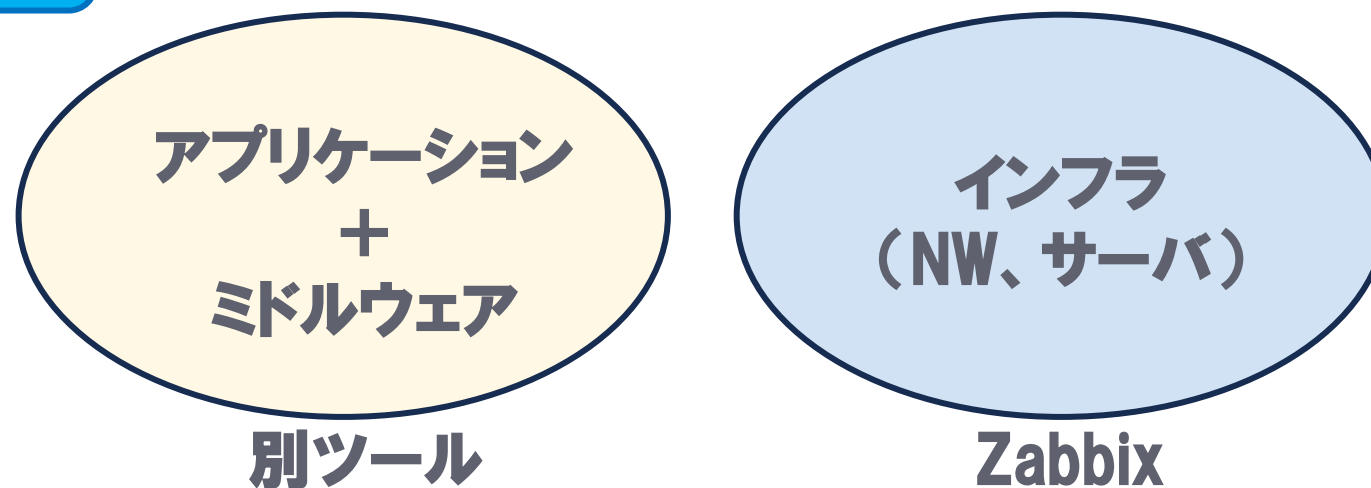
**必要な閾値のみをカスタマイズし、  
最適化**

## ④ あいまいな監視体制

Before: Zabbix Server 5.0時



After: Zabbix Server 7.0新体制



# その他の気づき

Before: Zabbix Server 5.0時

工数を大幅削減

Ansibleによる自動一括登録

After: Zabbix Server 7.0新体制

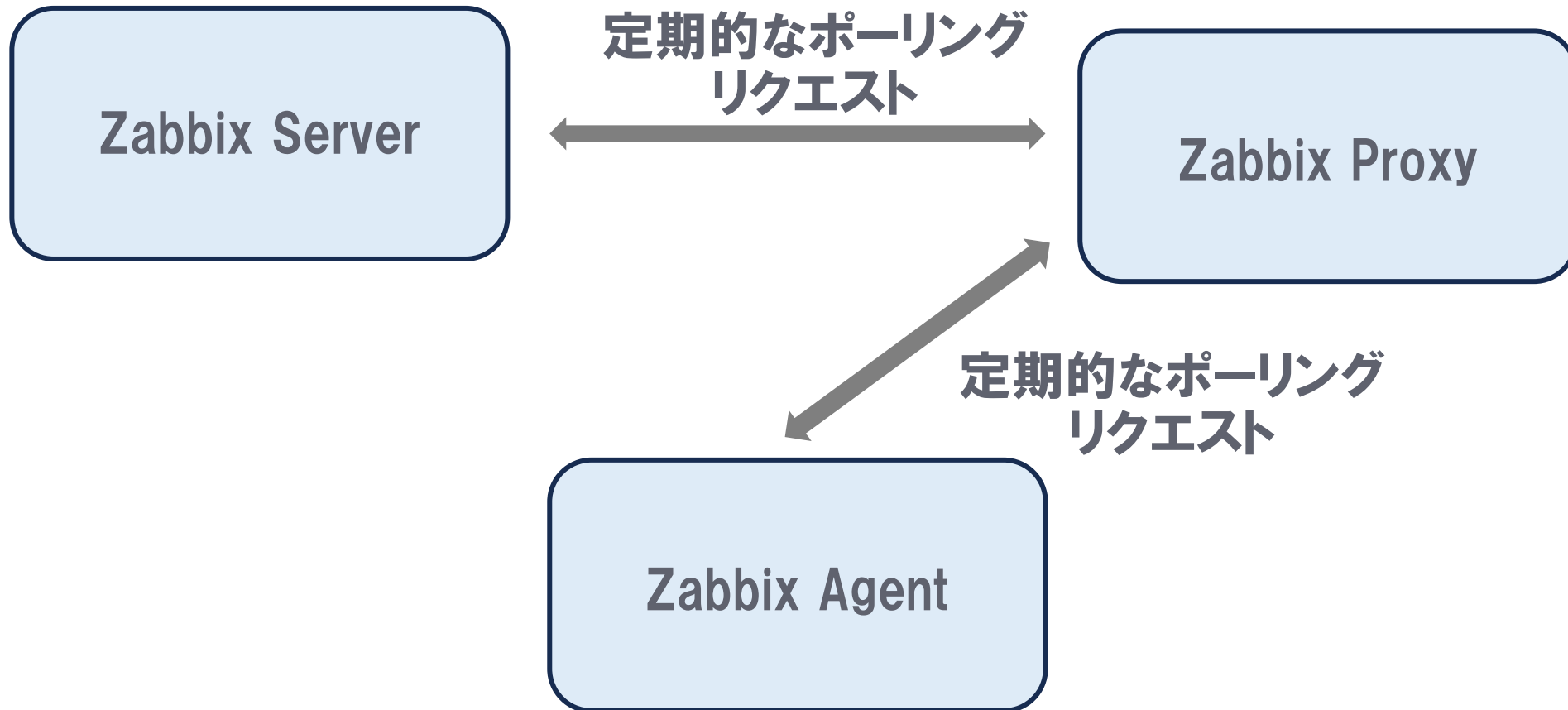
ひとつひとつ設定。。。 

サーバ設定	×サーバ台数
ブラウザ	×サーバ台数
ホスト	×サーバ台数
テンプレート	×サーバ台数
グループ	×サーバ台数
・	
・	

自動で一括登録 ✨

サーバ設定	} 一括登録
ブラウザ	
ホスト	
テンプレート	
グループ	
・	
・	

- Zabbix ServerとZabbix Proxyはバージョンを合わせる必要がある
  - ・ 5.0で稼働していたため、7.0で作り直した

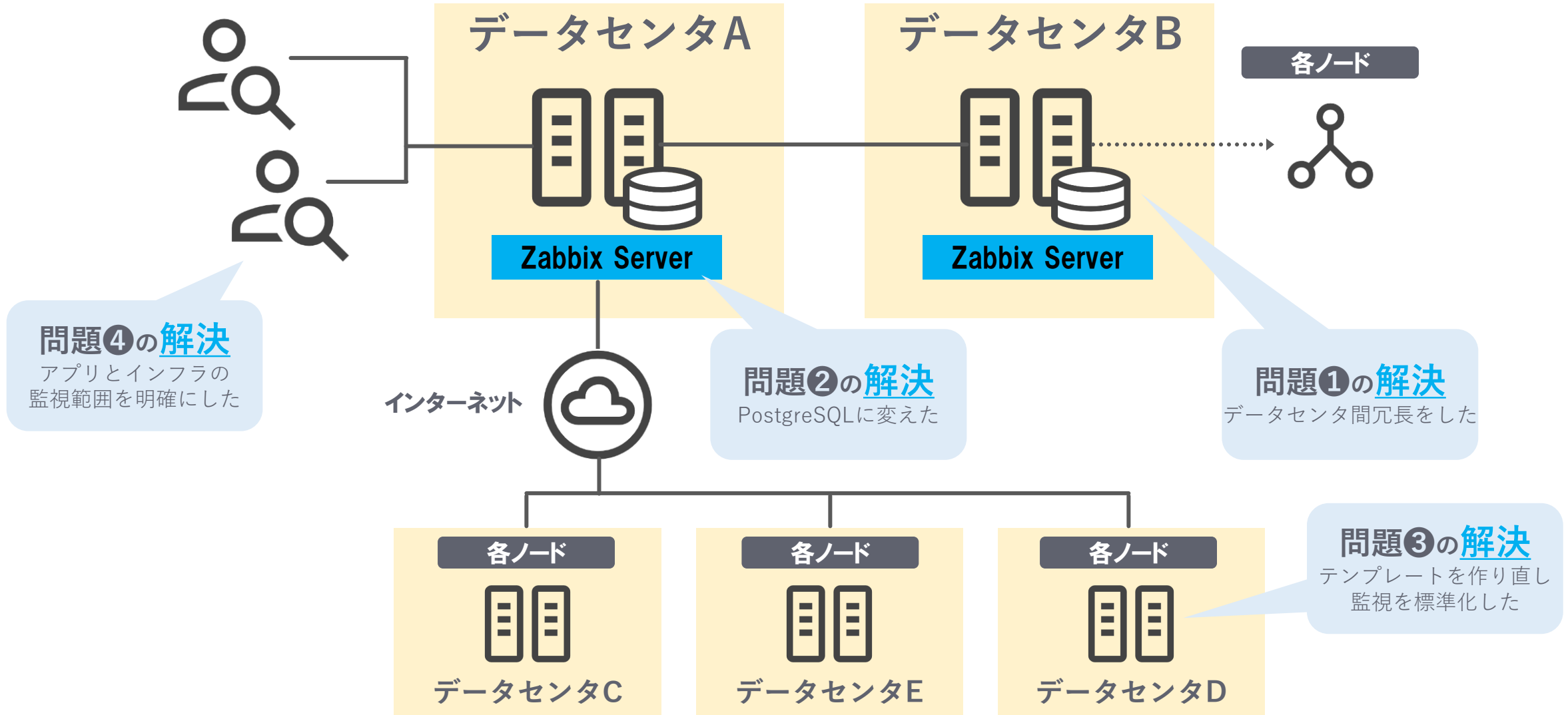


●構築に集中しすぎて…コミュニケーション不足で移行が宙に浮く危機  
→個々が、各自の業務のその先を意識することが大切

●CPUがパンクの危機！

原因は集中的なホスト登録

→CPUの確認・割当ては、こまめな実施がオススメ





**設計をイチから作る作業は、正直とても大変でした。  
でも、想像をはるかに超える貴重な経験と気づきがたくさんありました。**

**時間との闘いや不安もありますが、今後、  
多くの企業様でもZabbix7.0へのチャレンジが進むことを願っております。  
(その際はぜひまた情報交換させてください！)**

**ご清聴ありがとうございました**